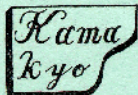


鎌倉交響樂團

第15回定期演奏會

5月24日(日) P.M. 7:00

鎌倉市中央公民館



鎌倉交響楽団第15回定期演奏会

後援 鎌倉市教育委員会

鎌倉音楽クラブ

曲 目

指揮 高 橋 誠 也

1. エグモント序曲……………ベートーベン
へ長調作品84
2. 管楽器の為のシンフォニー……………ストラビンスキー
「ドビッシェの思い出によせて」

— 休 憩 —

3. 交響曲第2番 ニ長調作品73……………ブラームス
第一楽章 アレグロ・ノン・トロッポ 3/4 拍子
第二楽章 アダージョ・ノン・トロッポ 4/4 拍子
第三楽章 アレグレット・グラチオーゾ 3/4 拍子
第四楽章 アレグロ・コン・スピリット 2/2 拍子

1970年5月24日(日) P.M.7:00

鎌倉市中央公民館

曲目解説

エグモント序曲

エグモントという人は史上に実在した。16世紀後半に処刑されたオランダの貴族の出の軍人であり、政治家である。当時スペインの支配下にあつたオランダの独立を計り、スペイン軍に抗して語られ、処刑された。そのときは一族1万8千人も相次いで処刑されたという。ウィレム一世は一時ドイツに逃がれ、のちにスペイン軍に抗して反乱を起し、1578年にオランダ北部、7州の独立となつた。エグモントはオランダ独立の礎となつた人である。ゲーテはこれを5幕の悲劇におさめた。ベートーベンは原戯曲の指定通りに序曲を含めて、十曲の劇音楽を作りあげた。

この序曲はソナタ形式で書かれており、壮大なドラマにふさわしく、聞くものをして強く、この悲劇的で勇ましい、いわゆる悲壯な気分にはきこまないではおかない。 [10分]

管楽器の為のシンフォニー

鎌倉始まつて以来初めてのストラヴィンスキー。最近入院のうわさがあり、又健康を取り戻したといわれる今年才の老作曲家は現在アメリカに作んでいます。ロシアに生れ(1882)リムスキーコルサコフに学んだ。バレエの音楽が多く、火の鳥、春の祭典、ペトルーシカ等が有名である。複雑な拍子を組立てた全く独自なリズムを得意とする、原始的で野蛮な彼の音楽は20世紀の音楽への一つのアプローチであつた。

しかし、彼の生涯の後半はしだいに古典的なものへのあこがれと変り、手法も題材も簡素化されて来ている。1920年(38才)に作られたこの管楽器の為のシンフォニーは「ドビッシーの思い出によつて」という副題が作曲者自身によつてつけられている。ドビッシーのどの部分の思い出なのか具体的な事は知る由もないが鐘の音、小川のささやき、町の雑踏、巡礼の風影と、フランス印象派の絵画を見ている趣きがある。 [12分]

交響曲第2番

ロマン派音楽家達の中で一人古典主義にもどつたヨハネス・ブラームス(1833—1897)は生涯4曲の交響曲を作つている。彼は、ベートーベンの不滅の9つの交響曲より秀れたものにならないとて、何度も考え直し、第1番が完成したのは43才の時、実に21年間もの時を費している。有名な指揮者ハンス・フォン・ビューローによつて「第10番」と名付けられた。ベートーベンの9つのあとにつづくと云う意味である。この様な熟考されたいわゆる「暗黒から光明へ」の精神的な闘争を表す第1交響曲に対し、第2交響曲は、次の年一氣に書き上げられ、曲の性格もまったく違つていて、いつたいに喜ばしくたのしく、また構成も単純明快でわかりやすい。この作品を書いた所、ベルチヤツハや、バーデン・バーデンの静かな田舎の風光に影響されているかもしれない。しかし、ただ楽しいばかりではなく、享乐的でもあり、さびしくもあり、厳肅なところも見られる。

「第一楽章」序奏なしにすぐテーマがチェロとバスによつて示される。この三つの音「ニーハーニー」は重要な基本動機で全楽章を通じて顔を出す。やがてホルンと木管がやさしくなつかしい主題で対話風に出て来る。田園的な喜びが感じられる。第二テーマは、チェロとヴィオラがこれまたのびやかに歌われる。展開部は第一テーマ、第二テーマの変形で一時はドラマティックな盛り上りを見せるがやがて静かに弦のピッチカートに管がスタツカートで答える夢のような美しさで曲は消えるように終る。 [14分]

「第二楽章」第一楽章の喜こばしさに對して、おこした疑問である。この喜びがいつまでつづくかと自分に問い孤独のさびしさに沈むようである。チェロによる下降的な美しいテーマに始まり、ホルンの甘く淋しい旋律にわり、やがて8/12拍子となり木管に愛らしいテーマが出て来る。すぎ去つた幸の日のたのしい遊びを思い出しかるかのようである。中間部で低弦とヴァイオリンの対話話となり、はげしい旋律が起り、さびしさは暗い情熱に高まる。やがて又、淋しいチェロの息切れするようなテーマが断片的に出て来て曲は静かに終る。 [10分]

「第三楽章」中間に急速な部分をはさんだ三部形式のやわらかい曲で、第二楽章で深く思いに沈んだ作曲者は、ここでは、無邪気にたのしく喜ぶ。曲はオーボエの素朴で親しみのある旋律で軽やかに始まる。この旋律はいわば、中心主題であり、何度も出て来る。中間の速い部分は2拍子に変わつて弦と管のユーモラスな対話となる。この後3拍子の速い部分があり、やがて最初のテーマにもどりたのしく、やはり静かに消えていく。 [5分]

「第四楽章」ここでブラームスは存分に歓呼する。最初は弦のppのハイドン風に喜こばしいものであるが、爆發するように強烈な動機で弦と管が対立しやがて大歓呼となる。第二テーマはヴァイオリンとヴィオラにイ長調で、あかるくおだやかにしかし喜ばしくうたわれる。展開部も祭典的なにぎわいを見せ、終りの方で突然静かに三連音でおだやかな対話をかわす。長いコードがあり、最後にトランペットの歓呼が現われ、トロンボーンの勝利の和音を長くのびして曲は終る。 [9分]

[全曲40分]

鎌倉交響楽団メンバー

名誉指揮者 東 清 蔵

常任指揮者 前 田 幸 市 郎

(順不同)

Violin	西井久美子 丹下慶子 松原千信 桐永信圭 本治圭三	子子子 子子子 子子子 子子子 子子子	大藤 板倉 上井 関川 竹内	藤 倉 井 川 内 平 山 部 寺	ゆき 由利 公 定 智 甚	き 章 健 子 康 朗 蔵 章 男 郎	鈴 木 恒 小 笠 長 武	木 次 原 峰 田 比 谷 平 一 郎	久 せ 綾 忠 由	仁 き 子 子 子 子 子	子 子 子 子 子 子 子 子 子	服 部 美 知 子 一 臣 子 子 子 厚	服 部 美 知 子 一 臣 子 子 子 厚	深 塚 深 師 寺	和 田 珠 川 山 野 明 典	潔 健 子 明	
Viola	丹阿 松德 桐部	阿部 注子	村松 服淨 法寺	谷 長 滝	山 本 賢 二 謙 寛	木 本 端	木 本 端	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎
Violncello	伊前 大内	沢田 幸達	服淨 法寺	谷 長 滝	山 本 賢 二 謙 寛	木 本 端	木 本 端	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎	日 比 谷 平 一 郎
Double Baas	大内 田野	野 守子	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Flute	大内 田野	野 守子	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Oboe	大酒 井桂	井 桂	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Bassoon	大酒 井桂	井 桂	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Clarinet	大酒 井桂	井 桂	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Horn	德永 正昭	藤 忠 誠	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Trumpet	岩藤 高阿	野 誠	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Trombone	岩藤 高阿	野 誠	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Timpani & Percussion	高阿 野誠	野 誠	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Assistant Conductor	高阿 野誠	野 誠	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛
Stage manager	高阿 野誠	野 誠	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛	山 本 賢 二 謙 寛

次回定期演奏会のお知らせ

10月25日(日) 鎌倉市中央公民館

パーセル：組曲第1番「妖精の女王」より

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」

独奏 生野晴子

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」

ち・鼻・専門

慢性病御相談

生和薬局

鎌倉西口銀座通り
電話(0467)22-2535

直輸入レコード
ミュージックテープの専門店



楽聖堂

GAKUSEI-DO

レコード部 鎌倉銀座通り (0467)(22) 2270
テレビ部 鎌倉銀座通り (0467)(22) 3281
事務部 鎌倉銀座通り (0467)(24) 0171

鎌倉銀座通り Tel.(0467) 22-2270

中華料理

栄 楽

由比ガ浜通り
(六地藏ソバ)
Tel. ☎ 3219 (代)

鎌倉の昔ばなしに

さて一つ

○御酒まん

義経

静

女夫饅頭

○鎌倉郷土菓子

頼家卿乃

彈琴

鎌倉名代酒まん処

松風堂本廬

若宮大路 電話 ☎ 〇六六六番

いつでも安く
何んでも揃う…

鎌倉 **ダルマ薬品**

鎌倉小町通り中央 TEL (02) 2594・0842

ご家庭に経済の安定を約束する

クスリ・化粧品・雑貨
食品・缶詰・菓子

ナイガイ

鎌倉裏駅前 TEL (02) 2430

伝統を生かした最高の味

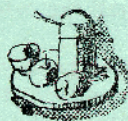
千羽鶴サブレ
フランス風ゼスケット



風月堂
ほんそれいゆ

由比ガ浜店 Tel. (02) 0963 代表
鎌倉駅前店 Tel. (02) 2538
江ノ電藤沢駅隣内売店 Tel. (02) 8932

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇
TEL. (02) 2370

佃煮
志ぐれ煮

新之助 貝新

鎌倉店

錦屋

鎌倉裏駅銀座通り
話電 (02) 二七三一

ふるさとの

伊勢の桑名の

しぐれよし

春の朝げに

秋の夕げに